

(様式第4号)

神科・豊殿地域協議会 会議概要

1	審議会名	第5回 神科・豊殿地域協議会
2	日時	令和3年2月25日(木) 午前・(後)7時00分から午前(後)9時00分まで
3	会場	豊殿地域自治センター(農村環境改善センター) 多目的ホール
4	委員出席者	青木茂友委員、浅川玲子委員、大久保孝子委員、近藤隆英委員、篠田正行委員、菅沼久美子委員、杉崎千代委員、高野亜矢子委員、谷口昌平委員、中村幸博委員、堀田芳子委員、堀善三郎委員、柳澤明德委員、柳澤正敏委員、渡邊久子委員、渡辺洋美委員 16人
5	市側出席者	羽毛田センター長、木角係長、内藤係長(市民参加協働推進課)
6	公開・非公開等の別	公開・一部公開・非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和3年3月7日 作成部局課名 上田地域自治センター(豊殿地域自治センター)

協議事項等

- 開会(羽毛田センター長)
- あいさつ(中村会長)
- 協議事項
 - 「地域の防災とその備え」 講師：滝澤 克彦様(小泉自治会長・防災士・長野県自主防災アドバイザー)
 - 「地域防災についての活動とその備え」について滝澤さんから資料に沿って説明
 - 質疑応答
 - (委員) 自主防災組織のメンバー構成と自主防災の組織を見直そうとしているがなかなかうまくいかない。その2点について小泉自治会の取組みについてお聞きしたい。また、一時避難場所は自主防災組織がうまく動かない時でも近所の方と集結場所を決めることはとても良いことだと思う。是非、お聞きしたことを持ち帰り自治会に提案したいと思う。
 - (滝澤さん) 自主防災組織はうまく回っていないところが多い。要はリーダーになる人がどのように引っ張っていくかということ。自主防災組織の会長イコール自治会長が1年ごとに代わりと難しいので、私の自治会では役割分担の表を作成した。リーダーが的確な指示を出すことが一番重要である。それをスムーズにするには、時々役割の打ち合わせの必要がある。もうひとつは消防団の手伝いをする。例えば、災害時に直接動くのは消防署・消防団であるが、我々はその手伝いをするべきだと思う。
 - (委員) 民生委員さんと連携がとれたという話しをしていただいたが、19号台風の当日、豪雨のなか動きがとれないことが実際あったが、そのような状況のなかで民生委員と自主防災組織の連携がうまくとれたのはなぜかお聞きしたい。また、消防団との連携の部分で個人情報より命の方が大事とおっしゃられたが、どのような場面でそのような感じを受けられたのかお聞きしたい。
 - (滝澤さん) 小泉自治会は民生委員が2人いる。その2人が体の不自由な方やひとり暮らしのお宅に回っているという情報を自治会の役員を伝って連絡が入っているため、民生委員の手伝いしている。個人情報の話しですが、要援護者の方の名簿はありますが、民生委員と自治会長の分しかない。市役所に聞くとコピーはとってはいけないとのこと。しかし、どこにどういう方が住んでいるのかわからない。小泉自治会には5つの区があるが、もし災害が発生したときに救助できるように各区長さんだけには要援護者の了解を得たうえで情報共有している。そうしないと取り残されてしまう可能性もあるので。
 - (委員) 上田市で支援マップが作成されている。それについては、消防団の方も承知しているか。また、支援マップについての現状の取り扱いを教えてください。

(滝澤さん) 支援マップは消防団にはお渡ししていない。消防団がどのような形で要援護者を把握するかわかりません。自治会では5人の区長さんだけにはお渡ししている。もちろん個人情報取り扱いには十分注意しながら活用している。

(3) 「わがまち魅力アップ応援事業」継続審査について

・令和3年度継続応募5件について審議を行い、「採択」と決定。

※各々の審査・協議については非公開

〈採択された団体名・事業名は以下のとおり〉

- ① 金井若草文庫 「金井自治会住民三世代が連帯感を持ち助け合えるための」事業
- ② 特定非営利活動法人まちもり 「もっと市民の森で遊ぼう！」事業
- ③ 豊殿ふれあいサロン運営委員会 「ふれあいサロン 地域住民の交流の場づくり」事業
- ④ 上田乗馬倶楽部 「市民の森馬術場まつり」事業
- ⑤ 市民の森活性化委員会 「市民の森芸術祭推進」事業

(4) 上田地域における地域協議会の設置単位について (内藤係長)

・資料に沿った説明

・質疑応答

(中村会長) 5年前に豊殿はまちづくり協議会、神科はまちづくり委員会という住民自治組織が設立された。上田市としては地域協議会をスリム化して右岸・左岸の2つの設置にして、そのなかで6・7人くらいずつ3グループに分かれて調査・研究の議題を検討していくという見直し案のようだ。皆さんにご賛同いただければそのように改めていくということですが、いかがか。

(内藤係長) 神科・豊殿については、昔から振興会の関係で神川地区との関わりがあった流れで、もし右岸地域協議会となった場合は、神科・豊殿そして神川の意見も反映しながら進めることも可能になる。

(中村会長) 神科・豊殿・神川地籍には20数年前から振興会という素晴らしい自治組織があった。右岸地域協議会となった場合はそちらも盛り上げることが可能となる。

(委員) 神科・豊殿は住民自治組織がしっかりしている。上田市の中では自治会と自治連は同じことをやっているのではないかと市の会議では度々意見が出た。しかし、各自治会長がまちづくり委員会の各部会に入っていて自治会では出来なかったことをまちづくり委員会で検討していることを住民にもっと理解していただければいろいろな意見も出てくると思う。地域協議会については、それ以前で住民に浸透していないので何を審議したらよいかかわからず意見も出てこない。そのように考えれば、まちづくり委員会で協議していけば、地域協議会を縮小しても十分機能すると思う。

(委員) 右岸・左岸地域 各々3地域協議会を一緒にするということが、各地域の委員選考基準についてお聞きしたい。地域協議会委員は役員の充て職が多い。そういう意味で言うと役員の負担増が課題になっているのに矛盾している。市で選考基準をはっきり設けてもらわないと皆は納得しない。

(内藤係長) 今回兼務の負担軽減の課題を解決するために見直しをしているが、結果的に設置単位見直しにより兼務の負担増になることは矛盾している。当然ながら兼務負担増にならないような形で検討していきたい。ただ、選考基準については一律とはなら各地域の実情もあるので、どのような団体から選出するかは皆さんの御意見を聞きながら決めていきたいと思う。

(委員) 自治連とかまちづくりだったら地域のことはよくわかっているはず。そうすると大体同様な意見が出てくると諮問にならないので、次回までに市で選考基準を示してほしい。

(内藤係長) 他地域から意見をお聞きしている段階で選考基準を現段階で示すことは難しい。地域の方々からどの団体からどのような方を選出したら良いか等の御意見をお聞きしながら地域の意向を充分反映した選考基準を作っていけたらと思う。

(委員) 右岸・左岸地域各20人でよいのか。3地区20人で割り切れない。必ずどこかの地区の人

数が少なくなる。また、地域性がばらばらで各地区の課題をまとめて議論していける人数なのか。そこら辺も整理しておかないといけない。次回、皆さんの意見も出していかないといけない。市から提案されたものをただ賛成・反対で決めるような事項でないので、もっと深めて議論する必要がある。

(委員) 前回の見直し案の時、自分が意見したことは神科・豊殿は中山間地域なのでなぜ地域性の全く異なるまちなかと一緒にしなくてはいけないのかと。確かに右岸と左岸では人口比率は同じくらいだが、地域性も考え方も違う。川西・塩田も地域性が違う。それを人口割だけで分けていいのか。

(中村会長) 委員さんの意見も聞きながら、検討課題として持ち越しとなりますが次回議論して良い方向にもっていきましょう。

(5) その他 特になし

4 その他

(1) 滝澤さん講演会アンケートの提出について

(2) 次回の会議日程 日程調整のうえ、日程決定次第連絡する

5 閉会 (青木副会長)

